

読み方学んで 会話力アップ

福井信金、新入職員に講座

福井信用金庫(本店福井市)は5日、新入職員を対象にした「新聞の読み方講座」を鯖江市のふくしん研修センター



で行った。職員40人がビジネスツールとして新聞を活用することに理解を深めた。

福井新聞社の担当者が講師を務めた。SNSを使った情報収集が広がっても、年代が上がるほど新聞の情報を重要と考えている人が多いことに触れ「取引先などさまざまな世代の人と会話するきっかけとして、地域の話題や地元企業の情報が載った新聞を活用してほしい」と呼びかけた。

新入職員は、関心を持った記事を選び、内容や感想を紹介し合う「まわしよみ新聞」にも挑戦した。写真。青山駿平さん(22)は「社会人なのでしっかり新聞を読み、雑学や知識を吸収し、コミュニケーション力を高めたい」、山田加奈恵さん(20)は「どのページにどういった情報が載っているかや、見出しの大きさがニュース価値を表すことが勉強になった。効率よく情報を収集していきたい」と話していた。

(宇野和宏)